



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月10日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向けIR電話会議 )  
 (百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	89,428	6.4	7,776	8.6	7,969	7.1	6,084	△49.9
2023年3月期第2四半期	84,016	9.9	7,161	39.5	7,442	9.3	12,144	124.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 8,571百万円(△47.4%) 2023年3月期第2四半期 16,280百万円(144.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	57.18	—
2023年3月期第2四半期	114.30	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	451,935	127,491	26.9
2023年3月期	439,999	123,889	26.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 121,374百万円 2023年3月期 117,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	29.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

2024年3月期(予想)の期末配当金も「創立50周年記念配当」として2円、年間で4円の記念配を予定しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	202,000	18.9	21,000	71.1	21,200	60.0	15,000	△11.3	140.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	108,520,799株	2023年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,864,213株	2023年3月期	2,072,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	106,410,243株	2023年3月期2Q	106,244,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-I R資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	84,016百万円	89,428百万円	89,000百万円	+6.4%	+0.5%
営業利益	7,161百万円	7,776百万円	6,500百万円	+8.6%	+19.6%
経常利益	7,442百万円	7,969百万円	6,500百万円	+7.1%	+22.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,144百万円	6,084百万円	5,200百万円	△49.9%	+17.0%
(参考) 評価営業利益	11,824百万円	13,451百万円	11,700百万円	+13.8%	+15.0%

〔前年同期比〕

前年同期には、会員権事業において、2022年3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありましたが、当期間では、2022年10月に販売開始した「サンクチュアリコート日光」の販売好調も加わり、前年を上回る契約実績であったこと、ホテルレストラン等事業において、回復が遅れていた都市部を中心に会員制リゾートホテルの稼働率が前年を上回ったこと、メディカル事業において、メディカル会員権の販売が前年を上回り、引き続き好調に推移し、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、課題であったシニアレジデンスの稼働率が上昇に転じたことなどにより、リゾートトラストグループ全体として、経常利益までは「増収増益」となりましたが、前年同期に一般ホテル売却に伴う特別利益(約90億円)があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は「減益」となっております。また、不動産収益の繰延影響等を除いた実力値を示す「評価営業利益」は、ホテル会員権、メディカル会員権の販売好調により大きく進展しております。

〔計画比〕

※「計画」は、2023年7月14日付の業績予想に基づきます。なお、本日付で業績予想を更に上方修正しております。

計画に対しては、主に会員権事業において、未開業ホテルの会員権販売が好調であり、不動産売上が開業まで繰延べられるものの、会員権の販売量は計画を大きく上回ったこと、ホテルレストラン等事業において、水光熱費や人件費が想定よりも増加しなかったこと、施設修繕費等の一部経費が下半期での実行予定になることなどにより売上高、利益ともに計画を上回りました。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

〔全体概況〕

当第2四半期連結累計期間における、わが国経済は、資源価格や物価、人件費などの高騰が個人消費、企業活動へ影響を及ぼす中で、値上げ、賃金上昇、人手不足などへの対応が企業には求められました。このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ホテル、メディカルの会員権販売が好調であり、昨年に実施したホテルレストラン等事業における値上げの効果に加え、6月には、一部会員権の値上げを実施し、インフレリスクへ対応しております。一方で、前年同期には一般ホテル売却に伴う「特別利益」約90億円が計上されていたことなどにより、この結果として、売上高は89,428百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は7,776百万円(前年同期比8.6%増)、経常利益は7,969百万円(前年同期比7.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,084百万円(前年同期比49.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	17,953百万円	18,621百万円	+3.7%
セグメント利益	5,542百万円	4,943百万円	△10.8%

会員権事業におきましては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移しましたが、開業するまでの間は、「不動産代金」の「売上高および原価」が繰延べられること、また、前年同期に比べ、見込み客紹介の業務委託手数料や営業スタッフのベア等件費の増加などコストアップにより、増収減益となりました。6月からは一部会員権の値上げを行っており、コスト増に対応してまいります。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	43,748百万円	47,447百万円	+8.5%
セグメント利益	3,075百万円	4,444百万円	+44.5%

ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、一部ホテル売却の準備コストがかかっていたものが無くなるなどコスト減少に加え、昨年11月からの値上げの効果、更には、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働回復などにより、ベアや中抜け廃止などの人事施策実行に伴うコスト増を吸収し、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	21,939百万円	23,003百万円	+4.9%
セグメント利益	3,037百万円	3,615百万円	+19.0%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったことで、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	374百万円	355百万円	△5.2%
セグメント利益	321百万円	330百万円	+2.7%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は451,935百万円（前連結会計年度比2.7%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員権販売における提携ローンの利用に伴い、営業貸付金が5,246百万円減少

し、割賦売掛金が11,594百万円増加したこと、会員制ホテル建設の建設に伴い会員権在庫となる仕掛販売用不動産が5,225百万円増加したことなどによるものであります。

**(負債)**

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は324,443百万円(前連結会計年度比2.6%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が19,522百万円増加した一方で、長期借入金11,056百万円減少したことなどによるものであります。

**(純資産)**

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は127,491百万円(前連結会計年度比2.9%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が3,392百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は26.9%となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

本日(2023年11月10日)付で、公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2024年3月期 通期連結業績予想数値(2023年4月1日～2024年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)
売上高	169,830百万円	202,000百万円	+18.9%	201,000百万円
営業利益	12,270百万円	21,000百万円	+71.1%	19,000百万円
経常利益	13,247百万円	21,200百万円	+60.0%	19,000百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,906百万円	15,000百万円	△11.3%	14,000百万円
評価 営業利益	22,358百万円	22,300百万円	△0.26%	19,380百万円

創立50周年を迎えた当社グループは、2023年4月～2028年3月までの中期5ヵ年経営計画を策定しました。

本中期経営計画においては、前中計のコンセプトであった、これまで培ってきたそれぞれの事業を横の連携でしっかりと「つなぐ(connect)」ことに加えて、各事業にサステナビリティの軸を通し、社会価値と経済価値の両立を目指した上で、会員と共に、社員と共に、全てのステークホルダーのウェルビーイングを追求し、より強固なグループブランドを実現するとともに、お客様の一生涯を通じてお付き合いをしていただけるグループになることを目指します。

このような状況下、通期業績の見通しについては、会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート高山」が2024年3月に開業を迎えることで、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテル、ゴルフ、メディカル、シニアライフ等の運営収益が拡大し、新たな価値を創出する一方で、賃金を継続的に上げる人的資本投資を拡大させることにより、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出していくことなどから、当社グループ全体として、売上高 202,000百万円(前年同期比 18.9%増)、営業利益 21,000百万円(同 71.1%増)、経常利益 21,200百万円(同 60.0%増)と売上高、営業利益は「過去最高を更新」し、増収増益を見込んでおりますが、一般ホテル売却に伴う特別利益が無くなることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は、15,000百万円(同 11.3%減)と減益を見込んでおります。

なお、本日付で、会員権販売の好調、ホテル、メディカル事業の運営収益の拡大等に伴い業績予想を上方修正しております。

また、配当金の予想についても期末配当金の予想を増配修正しました。中間配当金は25円(内記念配2円)、期末の配当金は29円(内記念配2円)予想とし、年間配当金額は、前年同期に比べ9円増配の年間配当金54円(予想)と記念配当4円を含む増配を行い、過去最高の配当金額となる見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,467	26,265
受取手形、売掛金及び契約資産	11,632	10,817
割賦売掛金	61,585	73,180
営業貸付金	32,291	27,044
有価証券	10,817	8,746
商品	1,038	1,114
販売用不動産	4,914	3,504
原材料及び貯蔵品	1,485	1,698
仕掛販売用不動産	26,139	31,364
リース投資資産	4,162	3,872
その他	6,411	8,327
貸倒引当金	△982	△980
流動資産合計	187,964	194,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,829	97,191
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	1,827
コース勘定	7,635	7,635
土地	43,702	44,607
リース資産（純額）	1,928	1,818
使用権資産	10,985	11,903
建設仮勘定	10,388	13,406
その他（純額）	2,927	2,792
有形固定資産合計	176,133	181,183
無形固定資産		
のれん	1,265	1,053
ソフトウェア	3,015	2,515
その他	1,876	2,203
無形固定資産合計	6,157	5,772
投資その他の資産		
投資有価証券	22,915	23,244
関係会社株式	1,328	1,335
長期貸付金	4,810	4,692
退職給付に係る資産	418	403
繰延税金資産	19,345	18,944
その他	21,343	21,826
貸倒引当金	△417	△424
投資その他の資産合計	69,744	70,023
固定資産合計	252,035	256,979
資産合計	439,999	451,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738	1,515
短期借入金	1,308	1,181
1年内返済予定の長期借入金	11,300	16,208
リース債務	1,470	1,477
未払金	11,403	9,495
未払法人税等	4,723	3,658
未払消費税等	2,245	1,567
前受金	95,402	114,924
前受収益	15,020	12,348
債務保証損失引当金	35	31
ポイント引当金	511	508
その他	11,535	11,113
流動負債合計	156,695	174,032
固定負債		
長期借入金	13,487	2,431
リース債務	20,985	21,345
繰延税金負債	322	308
株式給付引当金	547	709
退職給付に係る負債	3,007	3,144
長期預り保証金	29,813	29,620
償却型長期預り保証金	86,073	87,688
その他	5,178	5,163
固定負債合計	159,414	150,411
負債合計	316,110	324,443
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,574	21,372
利益剰余金	73,662	77,055
自己株式	△3,064	△5,115
株主資本合計	111,762	112,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,813	3,826
為替換算調整勘定	2,976	4,343
退職給付に係る調整累計額	322	301
その他の包括利益累計額合計	6,112	8,471
非支配株主持分	6,014	6,117
純資産合計	123,889	127,491
負債純資産合計	439,999	451,935



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	84,016	89,428
売上原価	9,588	9,044
売上総利益	74,427	80,383
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	26,473	28,860
修繕維持費	1,889	2,388
貸倒引当金繰入額	101	3
水道光熱費	3,862	3,847
減価償却費	4,248	4,011
その他	30,690	33,494
販売費及び一般管理費合計	67,265	72,606
営業利益	7,161	7,776
営業外収益		
受取利息	519	421
受取配当金	35	47
持分法による投資利益	7	2
貸倒引当金戻入額	61	34
債務保証損失引当金戻入額	5	3
為替差益	4	1
助成金収入	91	65
その他	169	132
営業外収益合計	895	709
営業外費用		
支払利息及び社債利息	135	136
シンジケートローン手数料	-	29
控除対象外消費税等	248	176
その他	230	174
営業外費用合計	614	516
経常利益	7,442	7,969

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	9,041	1
投資有価証券売却益	8	-
有価証券償還益	-	1,478
新株予約権戻入益	313	-
特別利益合計	9,363	1,480
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	309	23
投資有価証券評価損	68	-
その他	0	0
特別損失合計	379	23
税金等調整前四半期純利益	16,426	9,426
法人税、住民税及び事業税	4,895	3,265
法人税等調整額	△740	△50
法人税等合計	4,155	3,214
四半期純利益	12,271	6,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,144	6,084

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,271	6,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,593	1,013
為替換算調整勘定	2,434	1,367
退職給付に係る調整額	△18	△21
その他の包括利益合計	4,009	2,359
四半期包括利益	16,280	8,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,153	8,443
非支配株主に係る四半期包括利益	127	128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,426	9,426
減価償却費	4,796	4,353
のれん償却額	211	211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	109	121
受取利息及び受取配当金	△554	△469
支払利息及び社債利息	135	136
為替差損益 (△は益)	△0	9
固定資産売却損益 (△は益)	△9,041	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,897	△5,517
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,928	△5,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	59	△246
未払金の増減額 (△は減少)	△1,076	△1,540
前受金の増減額 (△は減少)	13,875	19,464
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	1,010	1,421
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△438	△495
リース投資資産の増減額 (△は増加)	-	289
その他	△3,619	△6,526
小計	3,104	15,465
利息及び配当金の受取額	522	545
利息の支払額	△132	△144
法人税等の支払額	△2,173	△3,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,319	11,929
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10	-
定期預金の払戻による収入	10	-
有価証券の売却及び償還による収入	-	8,263
投資有価証券の取得による支出	△0	△3,609
投資有価証券の売却及び償還による収入	49	-
関係会社株式の取得による支出	△0	△4
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,443	△6,099
有形及び無形固定資産の売却による収入	19,668	1
貸付けによる支出	△242	△50
貸付金の回収による収入	498	172
その他	△883	△512
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,645	△1,837

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	△266
長期借入金の返済による支出	△11,844	△6,148
社債の償還による支出	△75	-
自己株式の取得による支出	△0	△2,491
配当金の支払額	△1,611	△2,691
非支配株主への配当金の支払額	△146	△88
その他	42	△594
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△15,634</b>	<b>△12,280</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	15
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>476</b>	<b>△2,173</b>
現金及び現金同等物の期首残高	29,210	28,926
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>29,686</b>	<b>26,752</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,953	43,748	21,939	83,641	374	84,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	1,564	165	1,747	749	2,497
計	17,971	45,312	22,104	85,389	1,124	86,513
セグメント利益	5,542	3,075	3,037	11,655	321	11,976

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	11,655
「その他」の区分の利益	321
全社費用(注)	△4,815
四半期連結損益計算書の営業利益	7,161

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,621	47,447	23,003	89,072	355	89,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	1,826	289	2,138	653	2,792
計	18,644	49,274	23,293	91,211	1,008	92,220
セグメント利益	4,943	4,444	3,615	13,004	330	13,335

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	13,004
「その他」の区分の利益	330
全社費用 (注)	△5,558
四半期連結損益計算書の営業利益	7,776

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。